

【別表A(5)－1(公益充実資金の明細)】

下表の水色欄(■)を記載ください。黄色欄(■)は自動計算されます。

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末					
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額		残高
第90回記念展覧会資産	費用	2030	6,000,000	円	4,250,000 円
第86回展積立金	費用	2026	3,000,000	円	2,125,000 円
第87回展積立金	費用	2027	3,000,000	円	2,125,000 円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末					
前期末残高		取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高
8,500,000 円		3,000,000 円	3,000,000 円	0 円	5,500,000 円
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	取崩額(個別)	備考
第90回記念展覧会資産	費用	2030	6,000,000 円		
第86回展積立金	費用	2026	0 円	3,000,000 円	
第87回展積立金	費用	2027	3,000,000 円		

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細		期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)
第90回記念展覧会資産	費用	円	6,000,000 円	59 月	1,220,339 円	2,785,556 円
第86回展積立金	費用	円	0 円	11 月	0 円	
第87回展積立金	費用	円	3,000,000 円	23 月	1,565,217 円	

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細		積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
第90回記念展覧会資産	費用	0 円	
第86回展積立金	費用	0 円	
第87回展積立金	費用	0 円	
合計		0 円	3,000,000 円

【別表A(5)－2(公益充実資金の明細)】

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	第90回記念展覧会資産
当該活動の内容	法人の伝統的な記念事業として5年ごとに行われている記念展覧会で、国内だけでなく海外からの書、水墨画も展示する。観覧料は無料となっており、書道に興味のある人だけでなく、そうでない人に対しても観覧しやすいようにしている。また、国内からの出品者に対しては、低廉な価格の記念品を贈っている。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2024 年 4 月 ～ 2030 年 3 月 月数 (71 月)
所要額の算定方法	第90回記念展覧会を開催するための費用としての準備金。内訳は以下のとおりである。 1.会場の賃借料 2,000,000円 2.会場セッティング委託費 1,000,000円 3.作品額装費用 3,000,000円 合計 6,000,000円

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	第86回展積立金
当該活動の内容	法人の伝統的な事業として毎年開催している展覧会である。国内だけでなく海外からの書・水墨画も展示する。観覧料は無料となっており書道に興味のある人だけでなく、そうでない人に対しても観覧しやすいようにしている。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2021 年 4 月 ～ 2026 年 3 月 月数 (59 月)
所要額の算定方法	第86回展覧会を開催するための準備金。内訳は以下のとおりである。 1印刷製本費 200万円 2会場の賃借料 100万円 合計 300万円

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	第87回展積立金
当該活動の内容	法人の伝統的な事業として毎年開催している展覧会である。国内だけでなく海外からの書・水墨画も展示する。観覧料は無料となっており書道に興味のある人だけでなく、そうでない人に対しても観覧しやすいようにしている。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2021 年 4 月 ～ 2027 年 3 月 月数 (71 月)
所要額の算定方法	第87回展覧会を開催するための準備金。内訳は以下のとおりである。 1印刷製本費 200万円 2会場の賃借料 100万円 合計 300万円